United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　筑波大学附属駒場高等学校

種　別　□保育園・幼稚園　□小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　■高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）

所在地　〒１５４－０００１
東京都世田谷区池尻４－７－１

E-mail

Website http://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp/home/

児童生徒数　男子 490 名　女子 0 名　合計 490 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
■　国際理解
□　世界遺産
■　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
■　防災
■　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

筑波大学附属学校全体として、三拠点構想というものを掲げている。
「先導的教育拠点」「教師教育拠点」「国際教育拠点」の三点であるが、特にユネスコスクールのコンセプトに沿うものとして、国際教育拠点としての取り組みを重視している。
国際交流事業としては、必ずしもユネスコスクールという枠にとらわれず、本校独自に台湾と韓国の学校交流しており、来年度以降も継続する予定である。
また、国際科学オリンピックなどの参加者も増えている。
通常の授業では、国際理解については地理Ａや世界史Ａの授業の中で実践を行っている。
地域の連携などを通じてのネットワークの構築として、世田谷区教育委員会との共催、目黒区教育委員会からの後援を受け、筑駒アカデメイアという社会貢献プロジェクトを実施している。３つの講演会と約１０の公開講座と開催し、小学生から社会人まで、幅広い方々を対象に実施している。
このほか、本校の伝統として高校１年生は「総合的な学習」において、水田実習を行っており、毎年改善を重ね食文化に対する理解を深めている。
また、高校２年生は「ゼミナール」の選択授業において、障がい者への理解や環境問題（水俣）への理解を深めている。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
■　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）